旅館・ホテル向け

浴場設備・機器の新商品

今回の旅館・ホテル向け新商品特集のテーマは「浴場設備・機器」。特に温泉地にある旅館・ホテルにとっては最大の魅力になる浴場に磨きをかけよう。

特集

日産化学工業　配管洗浄剤など

レジオネラ属菌などを除菌

プールや浄化槽など消毒剤のメーカー、日産化学工業が、温浴施設の衛生管理用に展開しているのが塩素剤「ハイライトSPA」シリーズと水質検査試験紙「アクアチェック」シリーズだ。

ハイライトSPAシリーズは有効塩素量が多いうえ、溶解液が殺菌力の強い中性～弱酸性を示す塩素化イソシアヌル酸が主成分。このため除菌力、持続力が強く、浴室の塩素臭が少ないのも特徴。

速溶性顆粒剤「ハイライトSPA60」や徐溶性錠剤「ハイライトMT90」、金属を腐食させずにおいも少ない特許処方の塩素系配管洗浄剤「ハイライトSPA—FCシリーズ」など、用途に応じた製品を取りそろえる。最近では、このSPA—FCシリーズに、「ハイライトSPA—FC3プラス」を追加した。

ハイライトSPA—FC3は、レジオネラ属菌や黄色ブドウ球菌、大腸菌など各種雑菌を三つの効果「トリプル効果」で除菌するもので、新商品のFC3プラスは、前処理剤として「スケール溶解剤」を追加。同剤は、バイオフィルム増殖の土台となるカルシウムスケールを溶解し、バイオフィルムをはがしやすい状態にする。さらに、洗浄後にバイオフィルムを付きにくくする。

浴槽水や飲料水などの塩素測定には水質検査試験紙、アクアチェックシリーズが適している。測定は15～30秒で終了し、薬品が不要で廃液も出ない。浴槽水・プール水用の「アクアチェック3」は、浴槽の高濃度処理に対応。1リッあたり10ミリグラムまでの残留塩素濃度の計測が可能だ。

ほかにも、厨房、トイレ、風呂など、さまざまな場所を素早く除菌できる発泡タイプの「かんたん除菌タブレット」なども用意している。

ハイライトSPA—FC3プラス

檜創建　木製浴槽の製造、販売

入浴の新スタイルを提案

最高級の木曽檜、高野槙、青森ひばなどの天然もの、檜を使用した浴室空間を提案するのは主に木製浴槽の設計、製造、販売、施工を行う檜創建だ。浴槽は全て熟練工による手造りで、厳選された素材に伝統的な木工技術が注ぎ込まれている。

その同社では最近、国内外を問わずに多くの展示会に出展し、「入浴の新しいスタイル、価値観」を提案している。今月の25日から東京・有明の東京ビッグサイトで開催されるインテリア・デザイン市場の国際見本市「IFFT／インテリア ライフスタイル リビング」の企画展「旅館とおもてなしJAPAN」にも出展し、新製品を紹介する。

伝統的な浴槽を世界に向けて発信する意向だ。

近年の代表作である浴槽「O—Bath（オーバス）」シリーズは、工業デザイナーの川上元美氏がデザインを担当。タガのない自由形状のデザインが特徴だ。同シリーズの「ムゲン／インフィニティ」とデッキチェア「フューメ」はそのデザイン性が高く評価され、2014年度の「グッドデザイン賞」（Gマーク）を受賞した。

ムゲン／インフィニティは、檜の心地よさを直接肌で感じられるよう内側に膨らみを持たせ、木製浴槽では難しいS字曲線も実現した。フューメは、地元産の檜と榧を貼り合わせた部材を、人の曲線になじむように曲げ加工。部材のストライプ曲線の美しさが特徴だ。

フリープラン、フリーサイズが特徴で、浴室空間のリニューアル需要に応えた「フリースタイル・システムバス」も提案。旅館・ホテルの好みによって壁、扉、浴槽、床の仕上げ素材、仕様を選べる仕組みが評価されている。

展示の風景

アクアスフロンティア　モノクロラミン処理装置

レジオネラ症の防止対策に

レジオネラ属菌対策に詳しいアクアスフロンティア（東京都目黒区）はこのほど、「アクアスレジスパMMC」の販売を開始した。このシステム装置は、厚生労働省の健衛発0331第7号（3月31日付け）で改定された「循環式浴槽におけるレジオネラ症防止対策マニュアル」に記載されているモノクロラミン処理に対応する。

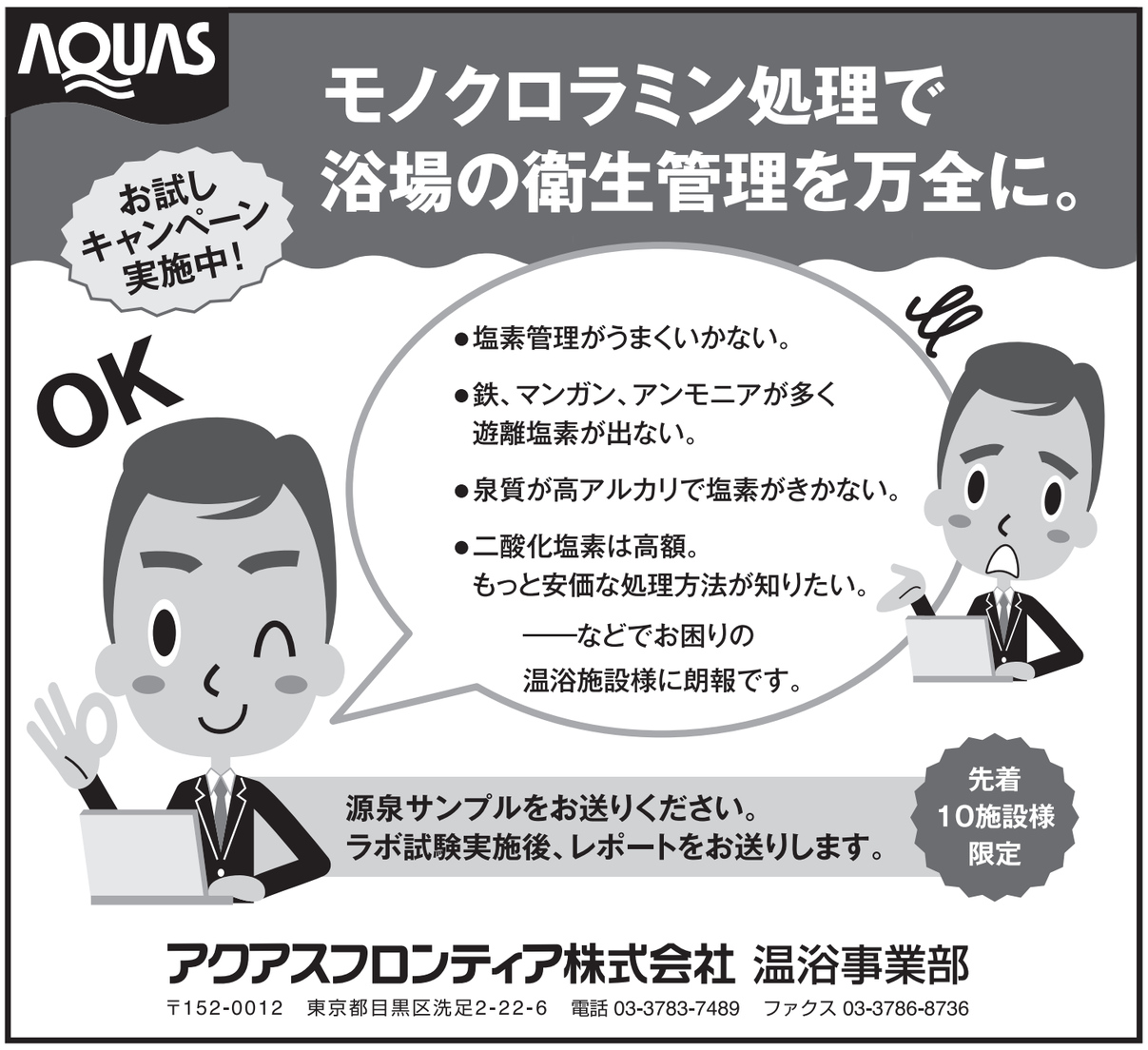
グループ会社であるアクアス（東京都品川区）は、茨城県つくば市に月間2千検体の環境水レジオネラ属菌検査能力がある分析センターを持つ。また同社は、浴槽水、冷却水の検査と処理技術を組み合わせることでレジオネラ属菌対策に高い技術を有する。

モノクロラミン消毒とは、循環式浴槽におけるレジオネラ症防止対策マニュアルの中に、泉質がアルカリ性でアンモニア性窒素が多い場合はモノクロラミン消毒が使用できる、と表記されており、その効果に関しても厚生労働科学研究などで実証済みだ。

レジオネラ肺炎は適切な治療を行わない場合、致命率が高い。

国立感染症研究所の報告によると2014年の感染者数は過去最高の1236人となっている。死亡者数は65人、致死率は5・2%で、毎週1人以上がレジオネラ症で亡くなっている状況だ。そのために、より一層の衛生管理の向上が望まれている。

モノクロラミン処理装置の例



HINOKISOKEN　檜 創建 株式会社　〒509-9232 岐阜県中津川市坂下305-15 TEL0573-75-5400 http://www.hinokisoken.jp